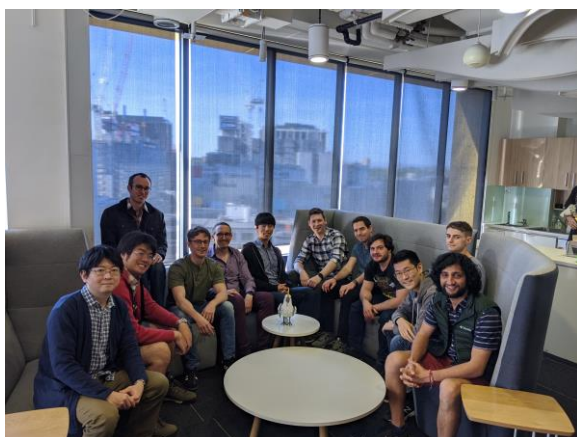


小さなコミュニティの大きな活力

物理工学専攻 博士一年 松浦 孝弥

私の今回の海外派遣は11月16日から同30日の二週間の日程で、最初の一週間はオーストラリアはメルボルンのRMIT大学で過ごし、翌週はバイロン・ベイで開かれた研究会に参加してきました。RMIT大学では、量子情報理論の中でも光を用いた量子計算やボソン系の誤り訂正理論を中心に扱うNicolas Menicucci先生の研究室に滞在し、お互いの最近の研究結果を発表しあい、議論を行いました。Menicucci研の学生とは興味の方向性が似通っていたこともあって議論が白熱し、その議論から新しい知見を得ることもできました。一週間という短い滞在期間だったために、具体的な共同研究の話までたどり着けなかったのが心残りです。

翌週のバイロン・ベイで開かれた研究会は、ボソン系の誤り訂正符号に特化したもので、世界各国から気鋭の若手研究者が集まりました。彼らと知遇を得て、対面で議論する機会を得られたことは幸運だと思います。当該分野はコミュニティとしては小さいですが、皆活発に議論し、新しい道を切り開こうとする姿が印象的でした。



RMIT 大学にて



バイロン・ベイの研究会にて